

平城西中学校区 新小中一貫教育学校開校準備委員会 第9回

1. 日 時：令和2年11月5日（木）18：00～20：20
2. 場 所：平城西中学校 金工室
3. 参加者：委員 出席15名 欠席3名
奈良市教育委員会事務局 教育政策課から3名出席
地域教育課から1名出席

4. 内 容

① 新バンビーホームについて（地域教育課）

【建設場所・建物・定員について】

- 学校とも協議し、現在のテニスコートの場所に建設する。東側道路から、バンビーホームに出入りできるように設計しており、駐車スペースを数台想定している。東側の入口、駐車場に関して、子どもの安全面についての課題は都度対処する。
- 建物は他のバンビーホームと同様、軽量鉄骨造りで、玄関を挟んで左右に保育室、そして静養室、トイレ、多目的トイレ、湯沸室がある。
- 保育室と静養室を合わせて143㎡であり、児童一人の1.65㎡の基準と照らし合わせると、86人程度の定員設定となる。

【スケジュール概要】

- 11月9日（月）に建設業者が決定し、11月の下旬に工事に着手する。工期は3月中旬までの予定である。

【工事について】

- 学校の工事と同様午前8時半～午後6時とし、原則日曜日と祝日は休みとする。安全管理については常駐で警備員を1名配置する。
- 工事のお知らせについては、神功地区自治連合会長と神功1、2丁目の自治会長、そして平城第1団地の自治会長と相談をして、基本的には住民にチラシを配るという形で周知する。
- 地域住民と同時期に平城西中学校と神功小学校、右京小学校の保護者の方にも学校を通じて手紙で周知することを考えている。平面図や位置図を保護者向けの手紙に載せるなど、できるだけ分かりやすい方法を地域教育課で検討する。

② 教育政策課・学校より

- 9月の開校準備委員会で、教育施設課から自治会長出席の地域向け工事説明会を行う旨の説明がされたか否かについて、教育政策課で記録を確認した。教育施設課から確かに説明がなされていた。
- サブグラウンドの形状については、北側を広げるイメージを持っている。そのため、現在南側に位置付けているテニスコートは機能的に使える位置であると学校と協議をしている。（教育政策課）
- 日常的にグラウンドを使うのは、小中学生の体育の時間、小学生の外遊び、中学生のクラブ活動が挙げられる。（学校）
- 施設一体型小中学校であるので、小学生はサブグラウンドだけではなく、中学生がともに大グラウンドを使用する。クラブ活動の時間については、中学生が使うが、小学生が体育や休み時間に大きなグラウンドを使うことについては、クラブには全く影響がない。今後、グラウンドの活用については、小学校と中学校とがしっかりと詰めながら検討する。（学校）

- 休み時間にサブグラウンドを使用するためには、市道を越えなければならない。その際の安全面を考慮するとともに、サブグラウンドをなるべく広く確保するために、市道を西側に移動することを開校準備委員会として要望する。(開校準備委員会)

③ 校名について

- 校名アンケートでは、「平城西」が一番多い結果となる。前回の開校準備委員会で決めたように、新小中学校は同じ名前とすることから、平城西小学校が既にあるので使えない。
- アンケートの結果を受け、開校準備委員会で以下の3件に絞り、学校が作成するアンケートにより、その3点の中でどれがよいかということ、小中学校の児童生徒に問う。
 - 平城山（ならやま）小・中学校
 - ・アンケートで「平城山」、「ならやま」、が50件を超えていた。
 - ・この地域は歴史的にならやま（平城山）と呼ばれていた。
 - ・自治会が右京と神功に分割される前は、「ならやま自治会」という名称であった。
 - ・平城西中学校、右京小学校、神功小学校の校歌には、「平城山」が使われている。
 - 丘の上（おかのうえ）小・中学校
 - ・地域の中で、「丘の上」の愛称が定着している。
 - ・学校の場所がニュータウンの高いところに位置する。
 - ・子どもたちの成長を願う意味も込めている。
 - 桜美（おうび）小・中学校
 - ・奈良は桜が有名であり、アンケートで「桜」が入った名前が多かった。
- 「平城山（ならやま）」について、漢字表記か平仮名表記のバリエーションがあるという点は、児童生徒への問い方を学校が検討する。

④ 新小中一貫教育学校 教育ビジョンについて

- 小中学校実務者会議を昨年に引き続き今年度も実施している。どのような学校にするのかという「学校ビジョン」の検討を行っており、年間計画、教育課程やカリキュラムの議論を進めている。
- 今年度の各学校の教育ビジョン、中学校区ビジョンを踏まえて、新小中一貫教育学校のグランドデザインを新たに作成する。現在は素案を出し合っている状況であり、議論を進めて開校準備委員会に提示する。
- 図書メディアセンターは、小中一貫教育学校の特徴的な施設である。図書メディアセンターは、小中学生が学び合う空間であるとともに、地域の交流の拠点となる場所にしたいと考えている。そのため、教員、北部図書館の司書、地域の図書館ボランティアの方、業者とともに、図書メディアセンター開設準備室を設け、施設の在り方や運営の仕方を検討していく。
 - 現3校のPTAは11月末に新PTAの在り方の打ち合わせをする。学校と新PTAの体制についての打ち合わせが必要である。(開校準備委員会)

⑤ その他

- 右京小学校PTA役員で通学路の危険個所をあげた。神功小学校の危険個所とまとめることとする。(開校準備委員会)
 - 教育総務課に危険個所の指摘があったことを報告する。(教育政策課)
- 東門が当初のイメージパースから変更されている。東門建設については、市長とも話をしている。変更された経緯について、市長を含めて確認をして欲しい。(開校準備委員会)

次回の開校準備委員会 12月3日(木) 18:00～ 平城西中学校金工室